

令和7年10月16日

都市ブランド創造局

アーバンスポーツの推進について

1 はじめに（趣旨・背景）

スケートボードやBMX、ブレイキン等に代表されるアーバンスポーツは、若者文化の象徴として近年大きな注目を集めており、特に東京オリンピック以降、その存在感は急速に高まっている。

また、アーバンスポーツは若者の表現・交流の場であると同時に、まちのにぎわいや観光資源の創出につながり、都市の魅力向上にも貢献するものである。

北九州市では、「スポーツ推進計画」で都市ブランド向上の一環として位置づけられ、「X会議方針」においても、スポーツを通じた賑わい創出の観点から重点分野とされている。国際大会開催の実績やダンスに強みを持つ学校など、市内の資源を活かしながら、地域振興や都市魅力の発信につなげていく素地を有している。

2 北九州市における政策的位置づけ

（1）北九州市スポーツ推進計画における位置づけ

～北九州市スポーツ推進計画（令和7年1月策定） 一部抜粋～

第5章 主要施策

方針Ⅰ スポーツでまちの魅力に ACCESS！ [重点方針]

施策1 スポーツを通じた都市ブランド力の向上

〔5〕 都市の魅力を高めるスポーツの振興

大規模国際スポーツ大会等の開催実績があり、北九州市に優位性のあるブレイキンやパルクール等のアーバンスポーツなどを戦略的に振興することで、北九州市の認知度やブランド力の向上、若者にとって魅力のあるまちづくりの推進につなげます。

(2) 本市がアーバンスポーツを推進する意義

① 若年層へのアプローチ

アーバンスポーツは、若い世代が自ら楽しみながら取り組みやすい特性を持ち、仲間づくりや自己表現の場として親しまれている。これらを通じて、若年層の市内活動や地域への関心を高める契機となる。

② 公共空間の活用とにぎわいづくり

公園や駅周辺などの都市空間を活かしたイベント等により、新たなまちの使い方を提案できる。市民や来訪者が集い、日常的ににぎわいを感じられるまちづくりにもつながる。

③ 国際大会を通じた発信力の向上

スケートボードなどの国際大会開催を契機に、本市のスポーツ振興や都市の魅力を国内外へ発信できる。今後も大会運営を通じて、地域との連携や次世代育成の機運を高めていく。

④ 観光・地域経済への波及効果

大会やイベントの開催により、市内外からの来訪や交流の拡大が見込まれる。宿泊・飲食等の経済効果に加え、SNS や映像を通じた情報発信によるシティプロモーション効果も期待できる。

3 アーバンスポーツに関する大規模国際スポーツ大会等の開催実績

(1) ブレイキン

- ・WDSF Breaking for Gold World Series in 北九州

日程：令和5年2月24日(金)、2月25日(土)

会場：西日本総合展示場新館

- ・東急不動産ホールディングス Breaking World Match2025

日程：令和7年2月22日(土)

会場：J:COM 北九州芸術劇場大ホール

(2) パルクール

- ・第2回 FIG パルクール世界選手権・北九州
- ・第1回 FIG パルクールジュニア世界選手権・北九州

日程：令和6年11月15日(金)～11月17日(日)

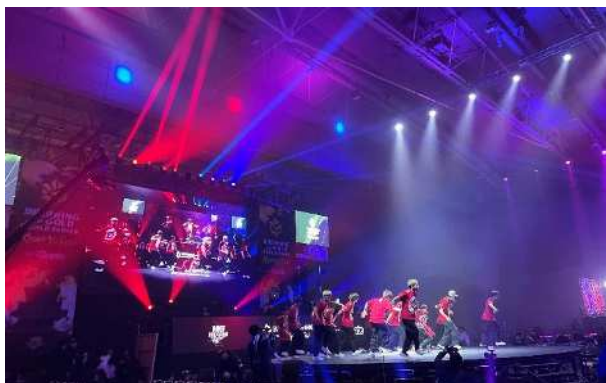
会場：勝山公園内特設会場

(3) スケートボード

- ・ワールドスケートボードストリート 2025 北九州（予定）

日程：令和7年11月23日(日)～11月30日(日)

会場：北九州メッセ（旧西日本総合展示場新館）



WDSF Breaking for Gold World Series in 北九州



Breaking World Match2025



FIG パルクール世界選手権・北九州



ワールドスケートボードストリート 2025 北九州（予定）

4 直近の取組事例

(1) パルクール世界選手権に伴う道路封鎖イベント

パルクール世界選手権に合わせて、会場前の道路を封鎖して実施し、スケートボードやブレイキン、BMXの体験会等のイベントを実施した。市民や来場者にアーバンスポーツの魅力を直接体感してもらう機会となったとともに公共空間である道路を、イベントで開放することにより、「都市空間の新しい可能性」を示すことができた。



(2) わっしょい百万夏まつり「アーバンスポーツフェスティバル」

本市最大のまつりである「わっしょい百万夏まつり」に合わせて、スケートボード、ブレイキン、パルクール、BMXなどの体験会やデモンストレーションを実施。市民が直接アーバンスポーツに触れることで理解と関心が高まった。こうした取組を通じて、市民の参加意欲を育み、アーバンスポーツの普及と裾野の拡大へ結びつけていく。

